第９講　つ・ぬ・たり・り

PART1　つ・ぬの説明

つ・ぬ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	つ							型
形	ぬ							型

【意味】

① **完了**（〜た）

② **強意**（きっと〜・必ず〜）（＝確述用法）

③ 並立（〜たり〜たり）

※終止形を重ねて用いる

（例）白波の上に漂ひ、浮き**ぬ**沈み**ぬ**ゆられければ、…

（例）「風吹きぬべし。」の現代語訳として正しいものを次の中から選べ。

ア　風が吹いただろう。

イ　風がきっと吹くだろう。

ウ　風がきっと吹いただろう。

★〈「完了」と「強意」の見分け方〉＝「　　　　」を見る

強意になるとき

つ
ぬ

＋「　　　　」（系）

※次ページ参照

む
む
て（ん）
な（ん）
まし
まし
けむ
けむ
べし
べし
らむ
らむ

（例）　次の傍線部の助動詞の意味は？

日暮れになりぬ。

月も隠れなむ。

〔例題〕「風吹きぬべし。」の現代語訳として正しいものを次の中から選べ。

ア　風が吹いただろう。

イ　風がきっと吹くだろう。

ウ　風がきっと吹いただろう。

問八　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　この使ひを失ひつらむ心憂さよ。

②　いふかひなくて、ともに帰りぬ。

③　こはいかなる物を食はせつるぞ。

④　今は世の花も、盛り過ぎぬらむ。

⑤　涙も落ちぬべければ、…

問九　「置きて逃げて来ぬ。」の傍線部の読みを答えよ。

問十　次の傍線部のうち、助動詞「ぬ」はどれか。適切なものを選べ。

ア　いたう罪な作り給ひそ。

イ　まめまめしきものは、まさなかりなむ。

ウ　春を忘るな。

問十一　傍線部ａ・ｂの意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

とてもかくても過ぎ[a]なん。

恩所あれども生を変へ[b]ぬれば、…

ア　過去　　イ　完了　　ウ　強意　　エ　存続　　オ　打消推量

a＝　　　b＝

問十二　傍線部ａ・ｂの意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

横笛も様をかへたるよし聞こえ[a]しかば、滝口入道一首の歌を送りけり。

遂にはかなくなり[b]にけり。

ア　過去　　イ　完了　　ウ　強意　　エ　存続　　オ　過去推量

ａ＝　　　ｂ＝

問十三　傍線部ａ・ｂの説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

山野に迷はせたまはむことこそ悲し[a]けれ。

入道死に[b]なば、各々…

ア　過去　　イ　詠嘆　　ウ　完了　　エ　強意　　オ　存続

カ　動詞の活用語尾　　キ　形容詞の活用語尾　　ク　形容動詞の活用語尾

ａ＝　　　ｂ＝

第９講　PART１　確認問題

①「あまた年経ぬれば、…」の傍線部の活用の種類と活用形として正しいものを、次の中から選べ。

ア　四段活用・未然形
イ　四段活用・連用形
ウ　下二段活用・未然形
エ　下二段活用・連用形
オ　ラ行変格活用・未然形

②「あはれなり［ａ］こと、忍びやかに奏す。」の空欄ａには助動詞「つ」が入る。正しく活用させた語を次の中から選べ。

ア　て　イ　つ　ウ　つる　エ　つれ　オ　てよ

③「うせさせ給ひぬるやうなる。」の傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　過去　イ　断定　ウ　完了　エ　存続　オ　強意

④「つひにほろびぬべしとて、…」の傍線部の口語訳として正しいものを、次の中から選べ。

ア　きっと破滅してしまう
イ　おそらく破滅しただろう
ウ　やがて破滅するだろう
エ　ついに破滅してしまった

⑤「草加といふ宿(しゆく)にたどり着きにけり。」の傍線部と同じ活用形のものを、次の中から選べ。

ア　われ、物握りたり。いまは下ろしてよ。
イ　馬を返しぬ。
ウ　身もほろびなむ。
エ　親王おほとのごもらであかし給うてけり。

第9講　PART1　解答

〔例題〕イ

問八　①強意　②完了　③完了　④強意　⑤強意

問九　き

問十　イ

問十一　a ウ　b イ

問十二　a ア　b イ

問十三　a キ　b ウ

第９講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

①　「経」は終止形が一文字のハ行下二段活用動詞。「ぬれ」は完了の助動詞「ぬ」の已然形で、連用形接続。よって、エが正解。

②　続く「こと」が体言なので、連体形に活用させる。

③　連用形に接続し「ぬる」と活用するのは、助動詞「ぬ」（連体形）。続く「やうなる」が推量系ではないので、完了の意を表す。

④　「ぬ」の下に推量の助動詞「べし」が接続していることから、完了ではなく「きっと……てしまう」と強意の意で訳す。

⑤　四段動詞「着く」の連用形に接続しているので、「に」は完了の助動詞「ぬ」。「に」と変化するのは連用形である。同様に連用形であるのは、完了の助動詞「つ」の連用形「て」であるエ。本来であれば「給ひて」であるが、ウ音便化して「給うて」となっている。

〔解答〕

①　エ　②　ウ　③　ウ　④　ア　⑤　エ